

## 第11回「富県宮城グランプリ」について

### 1 趣旨

富県宮城の実現に向けて、本県産業の発展、地域経済の活性化に対する貢献が顕著である企業、団体及び個人を称えることにより、富県共創への関心を高め、県民及び県内企業等の主体的な取組を促進することを目的として、平成20年度に創設。（東日本大震災後、平成23年度から平成26年度まで休止したため、令和4年度は第11回となる。）

### 2 募集・選考

#### (1) 募集期間

令和4年9月1日（木）～令和4年10月31日（月）

#### (2) 選考方法

国の出先機関、県内の市町村、企業・団体、地方振興事務所等から推薦（自薦を含む。）のあった企業・団体（合計16件）から、県内の産学官の主要団体で構成する「富県宮城推進会議」幹事への意見聴取等を経て知事が決定。

#### (3) 表彰の区分

##### 【富県宮城グランプリ】

知事が、本県産業の発展、地域経済の活性化に最も貢献したと認めるもの。

##### 【ものづくり産業振興部門賞】

ものづくり産業分野において、品質や生産性の向上、新商品の開発、新たな市場への参入、事業の協業化などに取り組んでいる企業等であって、地域におけるものづくり産業の模範となるもの。

##### 【「みやぎの食」振興部門賞】

食産業分野において、6次産業化や高付加価値化、販路開拓などに取り組んでいる企業等であって、地域産業振興への貢献が顕著なもの。

##### 【デジタル・トランスフォーメーション（DX）部門賞】

産業分野を問わず、デジタル技術の活用による生産性向上やイノベーション創出などに取り組んでいる企業等であって、地域産業の模範となりえる成果をあげているもの。

##### 【特別賞】

独自技術や特筆すべきノウハウ、商品、サービス、ビジネスモデルなどがあり、今後の取組や成長などに大きな期待を持てるもの。その他、特別賞の授与にふさわしい特色を持つもの。

### 3 受賞者（敬称略）

計4者（富県宮城グランプリ：1者、部門賞：3者）

#### (1) 富県宮城グランプリ

受賞者（所在地）	評価のポイント
株式会社 プロスパイン （大崎市）	平成15年から開発に取り組む、非接触動力伝達装置「マグネットギア（磁気歯車）」は、メンテナンスフリー・低発塵という特徴があり、クリーンな環境が求められる半導体製造装置、食品、医療品等への採用が拡大し、売上が増加している。付加価値の創出、事業転換の成功事例として、地域の模範となっている。

## (2) 部門賞

### ①ものづくり産業振興部門賞

受賞者（所在地）	評価のポイント
東北特殊鋼株式会社 （村田町）	「耐熱鋼」や「電磁ステンレス鋼」で国内トップシェア。東北大学との共同開発により多くの新合金・新技術を製品化するなど高い技術力を誇る。近年開発した、磁歪効果を示すクラッド材は、通電すると振動するという特性から害虫駆除等の効果があり、農業分野での活用も期待される。また、村田町への多額の寄付や防災協定の締結等、社会貢献活動にも積極的である。

### ②「みやぎの食」振興部門賞

受賞者（所在地）	評価のポイント
株式会社 齊吉商店 （気仙沼市）	水産加工食品の製造・販売及び直営店を運営。継ぎ足しの返したれで作られる看板商品の「金のさんま」は、多数の品評会で受賞歴がある。震災後は、新商品開発や販路開拓などのソフト面でのアプローチに注力し、ファンの獲得、ブランド力向上に取り組んでいる。また、近年では、外部人材を活用してECサイトをリニューアルし、売上を3倍に伸ばしている。

### ③デジタル・トランスフォーメーション（DX）部門賞

受賞者（所在地）	評価のポイント
プラスエンジニアリング株式会社 （村田町）	少量多品種に特化した精密機械加工を手掛ける。見積りから受注、生産管理等を一体的に管理する独自のERPシステムを構築し、生産性向上と働き方改革を実現した。自社の取組を講演やセミナーで発表するほか、国内外からの工場見学も積極的に受け入れており、本県のみならず全国の製造業の課題解決やレベルアップに貢献している。

## (3) 特別賞

該当なし

## 4 表彰式

(1) 日時：令和5年2月7日（火）午後1時から午後1時45分まで

(2) 場所：県行政庁舎4階 特別会議室 ※知事から賞状、記念品を授与

## 5 表彰式後の対応

今回の表彰については、受賞者の名称とともに、その取組を県ホームページで紹介し、PRする予定。また、グランプリ受賞企業については、ものづくり産業広報誌「オガーレ! ACE」にて企業紹介を行う予定。